

## 第4期藤沢市地産地消推進計画の取組内容について

1 重点的に取り組む施策	(1) 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化	【新規】ア 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での藤沢産農水産物等の供給及び活用
		イ 藤沢産利用推進店の充実
		ウ 量販店等での藤沢産コーナーの設置促進
		エ 藤沢産農水産物等の流通促進
	(2) 藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化	【新規】オ 藤沢産農水産物等の表示
		【拡充】ア 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用
		【拡充】イ 藤沢産農水産物等の利用促進
	(3) 地産地消の普及啓発・健康施策との連携強化	【新規】ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進
		【新規】エ 給食関係職員と生産者等との連携
		【新規】ア 農・畜・水を一体とした藤沢産農水産物等のイベントの開催
【新規】イ 健康寿命日本一をめざす取組との連携		
ウ 農水産物ふれあい交流イベントの開催		
エ 旬の藤沢産農水産物等の普及イベントの実施		
オ 地産地消講座の開催		

2 長期的に取り組む施策	(1) 藤沢産農水産物の付加価値向上に取り組む施策	ア 安全・安心な藤沢産農産物の生産・流通体制の整備
		(ア) GAPの取組の普及
		イ 新鮮な藤沢産農水産物の提供
		(ア) 新鮮な藤沢産農水産物の提供
		(イ) 朝採り野菜の集出荷拡大による供給強化
		ウ 藤沢産農水産物等のおいしい・旬の普及啓発・情報提供
		(ア) 藤沢産農水産物等のおいしい食べ方等のPR
		(イ) 藤沢産農水産物等の生産情報の提供
		(ウ) 「おいしい藤沢産」ホームページ等での情報発信・情報交換
		エ 6次産業化、ブランド化及び高付加価値化への取組に対する支援
		(ア) 藤沢産農水産物を利用した藤沢ブランドの開発支援
		(イ) 関係機関等と連携した藤沢産農水産物の高付加価値化への取組
	(ウ) 6次産業化による藤沢ブランドのブランド力強化の取組	
	(2) 本市農水産業を維持・発展させるため継続的に取り組む施策	ア 担い手の育成支援
		(ア) 農業後継者への支援
		(イ) 新規参入者への支援
		【新規】(ウ) 農福連携による担い手の育成
		イ 持続可能な生産環境への支援
		(ア) 環境保全型農業の推進・取組支援
		(イ) つくり育てる漁業の推進
		(ウ) 農地の多面的機能の理解促進
	ウ 生産者と消費者の交流・体験機会の提供	
	(ア) 援農ボランティアの充実	
(イ) 農水産業・食品加工業の体験機会の提供		
(3) 関連する施策との連携	ア 公民館・地域団体等が実施する施策との連携	
	イ 観光施策との連携	
	ウ シティプロモーションとの連携	

### 【重点的に取り組む施策】

#### (1) 藤沢産農水産物等の需要拡大・供給強化

- 【新規】ア 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での藤沢産農水産物等の供給及び活用(37ページ)
- ・競技大会の選手村等大会関係施設に食材を提供するための食材調達基準を満たす国際水準GAP等の認証取得に努めます。
  - ・競技大会における藤沢産の花きの利用促進に努めます。
  - ・本市を訪れる方に藤沢産農水産物等を楽しめる場の提供をするため、藤沢産利用推進店の充実に努めます。

#### (2) 藤沢産農水産物等の学校・保育園給食供給強化

##### 【拡充】ア 学校・保育園周辺で生産されている農産物の活用(40ページ)

- ・学校においては、第3期計画においてモデル校として実施した取組の安定と充実を図るとともに、学校周辺で生産されている農産物を給食で活用する学校の拡大に努めます。
- ・保育園においては、新たにモデル園を設定し、保育園周辺で生産されている農産物が給食で活用されるよう検討します。

##### 【拡充】イ 藤沢産農水産物等の利用促進(40ページ)

- ・給食で多く使用される青菜・キャベツ・ネギ・ニンジン・ダイコンについて、積極的に藤沢産を使用するよう努めます。
- ・米・大豆・小麦・果物・ワカメなどについて、より給食で使用できるよう関係機関と連携を図ります。

##### 【新規】ウ 生産者等との交流による藤沢産農水産物等への理解促進(40ページ)

- ・生産者等と園児・児童・生徒の交流を通じて、地域農水産業の理解促進等に努めます。
- ・生産者等に対する感謝の心を育むよう努めます。

##### 【新規】エ 給食関係職員と生産者等との連携(41ページ)

- ・生産者等との意見交換などを実施して、給食関係職員が地産地消への理解をより深めるための取組に努めます。

#### (3) 地産地消の普及啓発・健康施策との連携強化

##### 【新規】ア 農・畜・水を一体とした藤沢産農水産物等のイベントの開催(42ページ)

- ・農業・畜産業・水産業が一体となったイベントを開催し、地産地消の普及啓発に努めます。

##### 【新規】イ 健康寿命日本一をめざす取組との連携(42ページ)

- ・本市は、健康寿命日本一を目指しており、その取組のテーマの一つを「バランスよく食べる」として「地産地消による食育の推進」を主要な事業と位置付けているため、地産地消の普及啓発について連携を図ります。

### 【長期的に取り組む施策】

#### (2) 本市農水産業を維持・発展させるため継続的に取り組む施策

##### ア 担い手の育成支援

##### 【新規】(ウ) 農福連携による担い手の育成(47ページ)

- ・高齢者、障がい者、生活困窮者、困難を抱える若者などの社会参加に対し、農業がその受け皿となり、本市農業の新たな担い手となるための仕組みを構築します。

※第3期計画との施策の比較については、資料3の49ページをご覧ください。